

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和5年 6月15日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿					
提出者 〒295-0001 住所 千葉県習志野市東習志野7-6-1 氏名 日鉄溶接工業株式会社 習志野工場 工場長 佐々木 浩治 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 047-479-1171					
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。					
事業場の名称	日鉄溶接工業株式会社 習志野工場				
事業場の所在地	千葉県習志野市東習志野7-6-1				
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで				
当該事業場において現に行っている事業に関する事項					
① 事業の種類	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border-bottom: 1px solid black;">大分類 製造業</td> <td style="width: 33%; border-bottom: 1px solid black;">中分類 鉄鋼業</td> <td style="width: 33%; border-bottom: 1px solid black;">小分類</td> </tr> </table>		大分類 製造業	中分類 鉄鋼業	小分類
大分類 製造業	中分類 鉄鋼業	小分類			
② 事業の規模	製造品出荷額等 8,245百万円				
③ 従業員数	276名				
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1添付				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照のこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ※別紙3を参照のこと。

①現状	【前年度（令和 ⁴ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項 ※別紙3を参照のこと。

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 ※別紙3を参照のこと。

①現状	【前年度（令和 ⁴ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 弊社では、再生利用は実施していない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 弊社では、今後とも再利用を実施しない。	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 ※別紙3参照のこと。

①現状	【前年度（令和 ⁴ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 ※別紙3を参照のこと。

①現状	【前年度（令和 ⁴ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ※別紙3参照のこと。

①現状	【前年度（令和 ⁴ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組)	

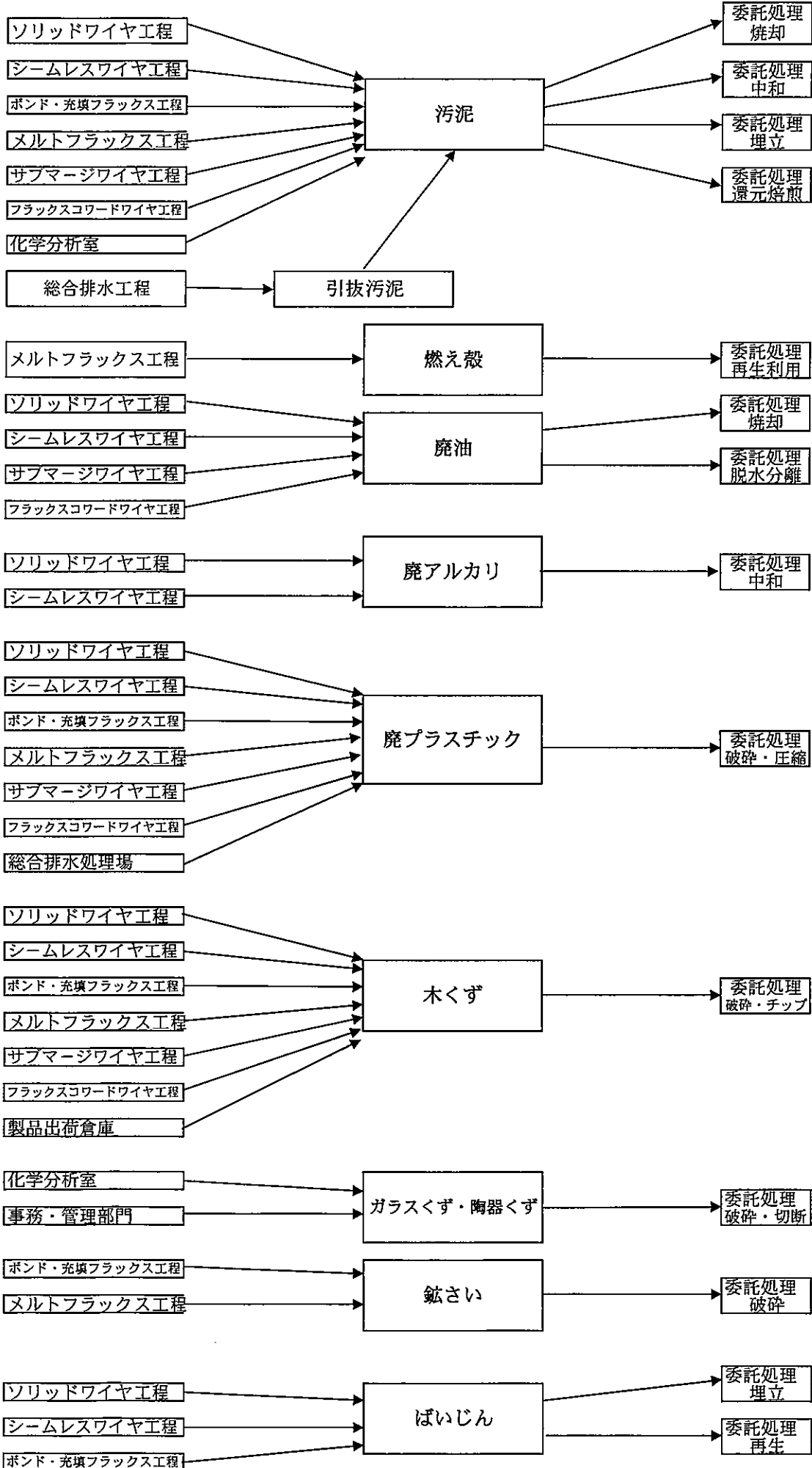
※別紙3を参照のこと。

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への処理 委託量	
	認定熱回収業者への処 理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



3. 廃棄物管理組織・体制

統括責任者	所属習志野工場	職：工場長
廃棄物担当組織名	公害防止組織	廃棄物担当組織人数：30人
処理計画組織規定	名称	環境管理委員会
	概要	<p>経営責任者：工場長（社長より委任）</p> <p>処理計画総括責任者：製造グループ長</p> <p>処理計画作成機関：環境管理委員会</p> <p>処理計画への関与：処理計画を作成する。</p> <p>権限：産業廃棄物処理に関する工場内管理及び指揮。</p> <p>責任範囲：産業廃棄物処理に関する計画、実行、管理。</p>
	情報管理方法	<p>（廃棄物処理実態の把握方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理担当者、委託業者から処理状況を定期的に確認。 <p>（保管・委託に係る情報管理）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物管理推進事務局にて一括管理。 ・ 管理状況は、環境管理委員会で報告（1回/月）
産業廃棄物対策組織図（令和3年. 4. 1改定）		
<pre> graph TD A[産業廃棄物処理責任者 (工場長)] --> B[産業廃棄物処理副責任者 特別管理産業廃棄物管理責任者] B --> C[環境管理委員会] C --> D[製造グループ] C --> E[生産業務グループ] C --> F[生産技術グループ] C --> G[設備グループ] C --> H[品質管理グループ] C --> I[管理グループ] C --> J[研究所 習志野地区] C --> K[機器事業部] C --> L[プラズマ事業部] C --> M[オプト事業部] C --> N[生産技術部] C --> O[技術サービスグループ] C --> P[協力会社] </pre> <p>責任者が出席（欠席時、副代理出席）</p>		
<p>責任者：各グループ長、チームリーダー</p> <p>副責任者：主幹または主査</p>		

備考 1. 処理計画組織規定の概要では、経営責任者、処理計画最高責任者、処理計画総括責任者、処理計画作成機関、処理計画の関与、権限責任範囲等を明確にする。

備考 2. 処理計画組織規定の情報管理方法には、廃棄物処理実態の把握方法、保管・委託に係る情報管理をどのように実施しているかを示す。

項目 (横軸廃棄物種別)	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃プラ	廃油	木くず	廃酸	その他混 合廃棄物	ガラスくず・ コンクリート くず及び陶器 くず	鉍さい	金属屑	石綿含有 廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項													
①現状 (前年度 令和4年度実績)	排出量(t)	336.05	30.33	9458.70	131.26	9.37	40.12	6.00	3.43				
	(これまで実施した取組)	再生利用可能な処理業者へ積極的に処分委託	焼却量の最適化	脱水設備管理の最適化による含水率の低減	—	—	パレットの修理・再利用	—	—	—	—	—	—
②計画 (目標)	排出量(t)	319.24	28.81	8985.77	124.70	8.90	38.11	5.70	3.30				
	(今後実施する予定の取組)	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持
産業廃棄物の分別に関する事項													
①現状 (前年度 令和4年度実績)	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底
②計画 (目標)	(今後分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
①現状 (前年度 令和4年度実績)	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(これまで実施した取組)	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない	弊社では、再生利用は実施していない
②計画 (目標)	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利用の実施は行わない
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
①現状 (前年度 令和4年度実績)	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)	—	—	8354.64	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(これまで実施した取組)	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない	フィルタープレス装置の計画的な布交換作業による含水率の適正管理	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない	弊社では、中間処理は実施していない
②計画 (目標)	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)	—	—	7936.91	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	現状の維持	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処理の実施は行わない
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項													
①現状 (前年度 令和4年度実績)	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(これまで実施した取組)	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない	弊社では、埋立処分又は海洋投入処分を実施していない
②計画 (目標)	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない	弊社では、今後とも埋立処分又は海洋投入処分の実施は行わない
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
①現状 (前年度 令和4年度実績)	全処理委託量(t)	336.05	30.33	1104.06	131.26	9.37	40.12	6.00	3.43				
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	336.05	0.00	980.41	102.18	0.00	40.12	6.00	0.00				
	再生利用業者への処理委託量(t)	336.05	0.00	596.76	0.00	0.00	40.12	0.00	3.43				
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	(これまで実施した取組)	再生利用可能な処理業者へ積極的に処分委託	焼却量の最適化	脱水設備管理の最適化による含水率の低減	分別の徹底	—	パレットの修理・再利用	—	—	—	—	—	—
②計画 (目標)	全処理委託量(t)	319.24	28.81	1048.86	124.70	8.90	38.11	5.70	3.30				
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	319.24	0.00	931.39	97.07	0.00	38.11	5.70	0.00				
	再生利用業者への処理委託量(t)	319.24	0.00	566.92	0.00	0.00	38.11	0.00	3.30				
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	(今後実施する予定の取組)	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	—	—	—	—	—	—

(別紙3)